

2010 年度夏季合宿

北海道・夏山踏破合宿

報告書

日時：8月6日（金）～8月15日（日）

場所：北海道阿寒岳・斜里岳・摩周岳・西別岳・トムラウシ山

関西大学探検部

報告概要

事業名：北海道・夏山踏破合宿

事業地：北海道阿寒岳・斜里岳・摩周岳・西別岳・トムラウシ山

期間：8月6日（金）～8月15日（日）

計画目的：北海道の山踏破

山中での長期合宿の経験獲得

結果：十勝岳踏破を除き、達成

隊員構成：CL 水谷雅文（文学部 2回）

市木博哉（文学部 2回）

松下亮介（環境都市学部 1回）

大阪連絡本部

津本春陽（同部 2回）

現地連絡本部

西川栄明（同部 OB）

現地管轄警察署

斜里警察署／札弦警察官駐在所

住所：北海道斜里郡清里町札弦町 9-3

電話：0152-26-2050

釧路警察署／阿寒湖畔駐在所

住所：北海道釧路市阿寒町 阿寒湖温泉 2丁目 1-13-1

電話：0154-67-2151

新得警察署／屈足警察官駐在所

住所：北海道上川郡新得町屈足柏町 1丁目 44-1

電話：0156-65-2151

総括

夏季休暇期間中である 8 月 6 日（金）～15 日（日）を利用して、北海道夏山踏破合宿を行った。踏破した山は雌阿寒岳(標高 1499m)、雄阿寒岳(1370,5m)、斜里岳(1547m)、摩周岳(858m)、西別岳(799m)、トムラウシ山(2141m)である。

今合宿では最終日に十勝岳の踏破も行う予定であったが、CL が調理中の事故で足に怪我を負ったためやむを得ずそこで合宿中止となった。その他の踏破はいずれも無事達成した。なお、この事故についての詳細は後述する。

メンバーにとって初めての山での長期合宿ということで、サポートに OB 西川氏にお願いいただいた。メンバーの一人が途中家庭の事情で抜けてしまうというアクシデントはあったものの、その後荷物のパッキングや食糧計画について西川氏に助言などをいただき、それを活用することで当初の計画通り進めることが出来た。これにより隊員の山行技術、パッキング技術は大いに上達したと言えるだろう。また、地図の読み取り方、気象図の書き方、食糧の選び方などの知識面でも様々なことが学べた。それとともに食糧計画を初めとして反省点なども多数見られ、これを良い機会とし見直していきたい。

今回は快晴と言える日は少なく、頂上についてもガスがかかっていることが多かったが、それでも雌阿寒岳の噴火口や斜里岳の沢、トムラウシ公園の雪渓が残る高原など、北海道ならではの自然は見るたびに目を見張るほどの感動を我々に与えてくれた。水を煮沸したり、トムラウシでクマに遭遇するなど、北海道の山を満喫したと言えるだろう。

また、1 回生にとってこれは初めての合宿であった。終盤は若干の疲れが見られたものの、隊列の先頭に立ってしっかりとルートを歩いていってくれた。この合宿により体力向上はもちろんのこと、基礎的な技術を身につけ、テント生活にもなじんできたように思える。加えて今回は CI としても初めて上回生抜きでの合宿となり、前半は OB 西川氏により天候やルートのアドバイスを受けていたものの、後半の縦走は完全に判断を任されることとなり、責任感等の面で成長できたと感じた。

最後になりましたが、関係者のみなさまのご理解・ご協力に感謝いたします。

(CL 水谷/記)

日付	時間	行動内容
8月6日(金) 移動日 天気: 晴れ	00:30 20:45 21:15 22:00 23:00	舞鶴港発(フェリー) 小樽港着(フェリー) 小樽フェリーターミナル発(バス) 札幌駅着(バス)・徒歩移動 北海道大学着・就寝
8月7日(土) 移動日 天気: 曇りのち雨	06:00 12:00 18:10 18:20 20:00 21:00	起床・朝食 札幌発(バス) 釧路駅前着(バス) 釧路駅発(電車) 標茶駅着(電車)、買い出し (大雨により標茶で電車停止、OB 西川氏に迎えに来て戴く。そのまま車で買い出し) OB 西川氏宅着・夕食・就寝(ベースキャンプ設営、以後 BC と記す)
8月8日(日) 天気: 雨のち曇り 阿寒富士 縦走距離: 約 11km	04:30 05:30 06:30 07:40 09:30 10:35 12:15 17:00 17:30 18:30	起床・朝食 パッキング・テント設営撤収練習 OB 西川氏宅発(車) オンネトー側登山口着(車)・登山開始 七合目通過 阿寒富士(1476m)通過 雌阿寒岳(1499m)着・下山開始 C1 阿寒湖畔キャンプ場着 夕食 C1 にて就寝

日付	時間	行動内容
8月9日(月) 天気：曇りのち晴れ 雄阿寒岳 縦走距離:約 15km	05:00 07:00 08:20 13:35 16:30 17:30 21:30	起床・朝食 出発・市木が家庭の事情のため離脱 滝口登山口通過 雄阿寒岳(1370.5m)着・下山開始 滝口登山口着 OB 西川氏宅着(車)・夕食 市木が無事帰宅を連絡・BCにて就寝
8月10日(火) 天気：晴れ 斜里岳 縦走距離:約 10km	04:30 06:00 07:00 09:50 12:40 16:00 17:30 21:00	起床・朝食 西川氏宅発(車) 清岳荘着(車)・登山開始 斜里岳(1547m)着・下山開始 清岳荘着・下山完了 OB 西川氏宅着(車)・気象 夕食 BCにて就寝
8月11日(水) 天気：雨 摩周岳 西別岳 行動距離:約 9km	05:30 06:30 07:20 09:25 10:45 15:30 17:00 19:00	起床・朝食 西川氏宅発(車) 第一展望台着・登山開始 摩周岳(858m)着 西別岳(799m)着・下山開始 OB 西川氏宅着・気象・買い出し 夕食 BCにて就寝

日付	時間	行動内容
8月12日(木) 天気：曇り時々雨 湯沼	05:30 06:30 08:45 09:30 12:00 17:00 19:30	起床・朝食 OB 西川氏宅発・やぶ漕ぎ練習開始 湯沼着 OB 西川氏宅着(車) OB 西川氏宅発(車) C2 トムラウシ自然休養林野営場着・夕食 就寝
8月13日(金) 天気：曇りのち晴れ トムラウシ山 縦走距離:約 11km	04:30 05:30 08:10 15:30 15:50 16:00 18:00	起床・朝食 縦走開始 カムイ天井分岐通過 トムラウシ山(2141m)通過(ピストン) C3 南沼キャンプ指定地着 気象・夕食 就寝
8月14日(土) 天気：晴れ トムラウシ山 縦走距離:約 13km	04:30 06:00 08:00 14:00 16:00 18:00	起床・朝食 縦走開始 三川台通過 C4 双子池キャンプ地着 気象・夕食 就寝
8月15日(日) 天気：曇りのち雨 トムラウシ山 縦走距離:約 11km	04:30 06:00 10:30 15:20 17:30	起床・朝食 縦走開始 美瑛富士避難小屋通過 C5 国設白金野営場着 (夕食調理中 CL 水谷の足に湯がかかり、火傷を負ったためこれ以降の行動中止、水谷は美瑛町立病院に入院)
8月17日(火)	19:50	CL 水谷、怪我のため先に帰宅(飛行機)
8月20日(金)	21:00	松下、大阪着(フェリー)

装備報告 松下

斜里岳、摩周岳に登る時はテントなどの余分な装備は西川宅に置かせてもらった。また隊員が二人に減っていたので、トムラウシ縦走に向かう時にも余分な行動食やガス缶は置いてきた。16日には全ての装備を家へ送った。

破損・紛失はなかったが、ガスヘッドに乗せていた鍋が倒れ、火傷して救急車を呼び、入院まですることになった。やはり火を扱う際にはポットスタンドを使用する、軍手で鍋をしっかり押さえておく等するのがよい。

医療報告 水谷

今回は持参した医療品を使うことはなかった。

食糧報告 水谷

日付	朝食	昼食	夕食
8月7日(土)	各自	各自	各自
8月8日(日)	ラーメン	ライトミール・魚肉ソーセージ	カレーライス
8月9日(月)	うどん	ライトミール・魚肉ソーセージ	スパゲティ
8月10日(火)	卵入りラーメン	ライトミール・魚肉ソーセージ	バーベキュー
8月11日(水)	雑炊	ライトミール・魚肉ソーセージ スライスチーズ	カレーライス
8月12日(木)	ラーメン		カレーライス
8月13日(金)	パン	ライトミール・魚肉ソーセージ スライスチーズ	ハヤシライス
8月14日(土)	雑炊	ライトミール・魚肉ソーセージ スライスチーズ	レトルトα米
8月15日(日)	レトルトα米	ライトミール・魚肉ソーセージ スライスチーズ	

行動食：チョコレート（一人板チョコ1日1枚）

嗜好品：ココア・紅茶

8日～10日は魚肉ソーセージを2本持参したが、縦走時は荷物重量軽減のため1本に減らし、スライスチーズを1枚持って行った。荷物は軽くなったもののあまり十分とは言えないカロリー量であったようで、1日の後半には隊員は空腹とそれによる疲れに襲われた。

撮影報告 水谷

使用機材：pentax optio w90 充電器

撮影枚数：120 枚

煙を噴き上げる雌阿寒岳や阿寒湖を見下ろす雄阿寒岳、遙か遠くの知床を望む斜里岳、そして雪渓残るトムラウシの高原を余すところ無く写真に納めることが出来た。今回は1回生の初合宿での奮闘ぶりも中心に撮影する予定だったが、見直してみると食事やテント周りの写真が少ないことに気づいた。初めての撮影係と言うこともあってか、風景写真ばかりに気をとらわれていたようだ。これからは隊員達の活躍にもピントを当てて写真を撮るように心がけたい。

気象報告 松下

今合宿中、ラジオ放送により3回天気図をつけることができた。基本的な気象情報の書き取りは問題なかったが、前線や台風情報をうまくつけることができなかった。今後はどんな天気でも対応できるようにしたい。10月中の普段のトレーニングにおいて天気図をつける練習を5回以上行なう。

事故についての報告 水谷

日時	時間	場所
8月15日(日)	17:30	白金温泉野営場

15日、夕飯のスパゲティをゆでていたところ、鍋を安定した場所に置いていなかったため鍋が倒れて湯がCL水谷の足の甲にかかり2度の火傷(水ぶくれ、激しい痛み)を負い、ふもとの美瑛町立病院に救急車で運ばれた。幸い今回は山中の事故ではなかったものの、今後は鍋を扱う際に軍手で鍋をしっかり支え持っておく、ポットスタンドを使うなど万全を期す必要があると感じた。

OBの方々や1回生の松下君にはご心配、ご迷惑をかけてしまい、誠に申し訳ありませんでした。ありがとうございます。

会計報告 水谷

交通費

舞鶴～小樽港（フェリー）	¥20,500（往復）
小樽築港～札幌（バス）	¥590
札幌～釧路（バス）	¥5,000
釧路～標茶（電車）	¥1,040
小計	¥27,130 /一人当たり

交通費 ¥27,130×3人＝¥81,390

装備費 ¥0

医療費 ¥0

食糧費 ¥10,311

撮影費 ¥2,400

雑費 ¥0

合計¥94,101÷3人＝¥31,367/一人当たり

※今回は事故等の理由で途中離脱が多かったため、大阪まで帰宅する手段が各自でバラバラになってしまった。ここでは当初の予定であった（今回は松下しか帰宅時フェリーを使わず、他2名は飛行機である）フェリーでの帰宅をひとまず会計に含めている。

雑感 水谷

お疲れ様でした。お疲れ様でした……。もう足はすっかり治り、普通に歩ける状態です。ご心配をおかけしました。今回の合宿は計画書の段階で何回も手直しをし、装備も期間ギリギリで揃え、向こうに着いてからも市木が帰ってしまう、台風が来ると波瀾万丈でした。準備していくにつれどれだけ自分が様々な意味で無知であるかが分かって来始め、今から思うと最初期の旭岳からの縦走計画は思い出すだけにぞっとします。今回の計画でも食糧や荷物の問題は多々あったのに。

山行自体は雨の日もありましたが中々快調でした。雄阿寒岳は勾配と段差が激しいのでこの合宿一番辛かった……。あとから聞いたところでは荷物抱えて登るような山ではないようで。斜里岳とトムラウシは天気も良くとにかくすばらしかった。今度行くときがあるとなれば旭岳と羅臼岳にも挑戦してみたく思う。

雑感 松下

縦走中のキャンプ指定地でヒグマが現れて驚いたが、遠くにいて近寄っては来なかったなので、撃退スプレーは使わずにすんだ。他にもエゾシカやキタキツネなどの野生動物を見ることができると期待していたが、あまり野生動物とは出会わなかったのが少し残念だった。

今回は初めての夏期合宿だったが、トラブルが多く大変だった。

.

反省文 市木

まず 8 月の関西大学探検部夏季合宿において登山中の途中で合宿を抜け出し帰宅をしたことについて謝罪します。

8 月 8 日から 8 月 9 日の阿寒岳踏破の途中で私は私用に合宿中にもかかわらず帰宅をしました。そのことで同伴していたほか部員に多大な迷惑をかけ計画に支障をきたしてしまいました。またお世話になっていた OB の西川さんにも心配をかけてしまいました。

今後は冷静に判断し同じようなことがないように努めます。また自分の役割を理解し周りの人間に迷惑をかけないように心がけます。

改めて今回の件での自分勝手な行動について深く反省します。

K.U.E.C